

2026年4月21日

高松市内の NPO、市民活動団体
香川県内の行政関係機関
地域金融機関、企業の皆さまへ



休眠預金活用事業 2025 年度 通常枠【第 2 回】採択 「家庭や学校生活に不調和が生じている子どもやユースの生きづらさを 解消する社会的処方モデル構築事業」 実行団体公募説明会のご案内

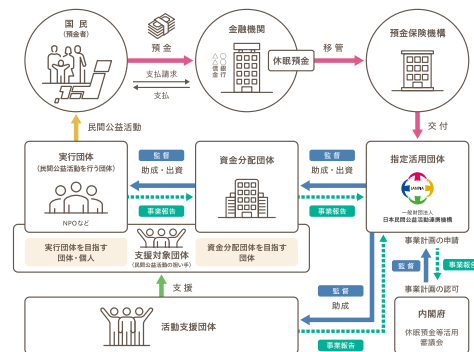
当財団はこのたび、休眠預金等活用事業 2025 年度通常枠・第 2 回の資金分配団体に採択されました。本案内は、高松市内の NPO、市民活動団体の皆さまに加え、行政関係機関、地域金融機関、企業など、事業に関心をお持ちの地域の皆さまにお届けしています。

5 月 8 日（金）の公募説明会には、休眠預金等活用事業の指定活用団体 JANPIA の助成担当者が会場に来ます。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。なお、**実行団体（助成先）として申請を検討される団体は、複数名で参加されることをお勧めします。**

< 休眠預金活用事業とは >

2018 年に施行された、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（以下、休眠預金等活用法）」に基づき、10 年を超えて取引のない国民の預金の一部を社会課題解決に向けた公益的活動に活かすという仕組みです。

てらす財団の資金分配団体への採択は、2018 年の法律施行以降、四国では初めての採択です。



< 本事業が目指す地域の姿 >

家庭や学校生活に不調和が生じている子どもやユースは、時に不登校という形で周囲に SOS を出します。文部科学省が学びの多様化学校を推奨する等、「学校に戻る」ことだけが不登校の解決策ではなくなっていますが、学校という社会資源から距離を取ることで孤立リスクが高まることも事実です。孤立を防ぐために、子どもやユースの居場所として行政も民間も様々な手立てを打っていますが、ニーズに対して数が足りていないことや、支援者同士の連携が仕組み化されていないことで、個々の居場所の負担が大きくなるという状況があります。

家庭や学校生活に不調和が生じている子どもやユースが安心して過ごせる場所を地域に増やし、それぞれが抱える困りごとを地域で解決し地域で支える仕組みとして、社会的処方モデルを地域で構築します。その先に、子どもやユースが孤立することなく、多様な社会資源を活用し自分の将来をそれぞれの歩幅で主体的に選び取ることができる地域をめざします。

※社会的処方とは：社会的なつながりで孤独や孤立を解消し、心身ともに健康にするというイギリス発

祥の概念です。元々は「薬を処方しない」医療アプローチの一つでしたが、日本では2020年以降「薬の代わりに社会とのつながりを処方する」ことで孤独・孤立を防ぐことを目的に国や自治体が推進しています。

<公募スケジュール・説明会等>

事業名	家庭や学校生活に不調和が生じている子どもやユースの生きづらさを解消する社会的処方モデル構築事業
公募要領公開	2026年4月28日（予定） 財団WEBサイトにて公開
採択予定実行団体数	最大3団体まで（3団体の助成総額54,000,000円）
1団体あたりの助成額	1団体あたり18,000,000円/3年間
対象となる団体	要領の目的を理解し、対象地域で活動する非営利団体。申請時に法人格の有無は問いませんが、法人格を持つ場合は非営利型の法人であること。法人格を持たない団体の場合は、本事業期間に法人化をめざす予定のある団体。 例）NPO法人、社会福祉法人、一般社団法人（非営利型）
対象地域	香川県高松市および高松市周辺地域 ※原則高松市内に活動拠点を持つ団体を対象としますが、高松市に隣接する地域で本助成の主旨にあった提案のある団体からの申請は選考の対象といたします。
公募説明会（必須） 当日参加できない申請団体は、アーカイブ必聴	2026年5月8日（金）14:00～17:00 会場：高松市市民活動センター（瓦町FLAG8階） ※事前申し込み必要。申請を検討される団体は、複数名での参加を推奨します。
申請書作成サポート講座 （任意受講）	2026年6月6日（土）14:00～16:00 会場：高松市市民活動センター（瓦町FLAG8階）
事前相談（必須）	期間：要領公開～2026年6月22日（月） 方法：オンラインまたは活動場所にて
公募締切	2026年6月29日（月）15時まで ※時間厳守
助成事業期間	2026年8月（想定）～2029年2月28日

<お問合せ>

公益財団法人 たかまつ讃岐てらす財団

〒760-0017 香川県高松市番町1丁目5-1 高松市創造支援センター内

電話 080-8191-7517 メール info@sanuki-tellus.jp

URL <https://sanuki-tellus.jp/>

担当：澤田、楠田、大美

【公募説明会のご案内】

休眠預金活用事業
(2025年度通常枠第2回)

家庭や学校生活に不調和が生じている 子どもやユースの生きづらさを解消する 社会的処方モデル構築事業



公募説明会 5月8日(金)14:00～17:00

📍 高松市市民活動センター（瓦町FLAG8階）

事前予約必須



日時 2026年5月8日(金) 14:00～17:00

会場 高松市市民活動センター（瓦町 FLAG 8 階）

内容

- ▶ 休眠預金等活用事業の制度について（一般財団法人日本民間公益活動連携機構＜JANPIA＞）
- ▶ 本助成公募の内容について（公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団）
- ▶ 公募についての質疑応答
- ▶ 個別相談会（予約必須、1 団体 20 分程度）

【主な対象】

- 子どもやユースへの居場所支援、相談支援の活動をされている方、今後始めたい方
- 不登校支援や、子どもやユースの現状に関心のある方
- 子どもやユースの支援を通じて、地域の多様な主体（NPO、行政、学校、企業等）と連携したい方
- 休眠預金活用の事業や制度に関心のある方

【注意事項】

- 事前に参加申し込みが必要です
- 個別相談会は申し込み先着順です。満席になった場合は後日事前相談にお申し込みください
- 申請を検討される団体は、なるべく複数名での参加を推奨します
- 会場には専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください

申し込みフォーム

<https://forms.gle/pBqDgybVBS6wN1mt7>

